

#生きづらさを、  
生きていく。

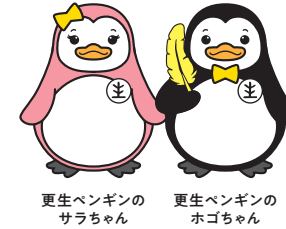


犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

## 第71回 社会を明るくする運動

## 7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・ 再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、  
すべての国民が、  
犯罪や非行の防止と  
犯罪や非行をした人たちの  
更生について理解を深め、  
それぞれの立場で力を合わせ、  
犯罪や非行のない  
安全で安心な地域社会を  
築くための全国的な運動です。



### “社会を明るくする運動”に参加しよう!

- 更生保護についてもっと知りたい方は

検索

- お問い合わせはお近くの保護観察所まで

検索

- 更生保護ボランティアについては

検索

法務省保護局  
公式Twitter  
アカウント



法務省  
公式YouTube  
チャンネル



法務省保護局  
公式Instagram  
アカウント





## 犯罪や非行の背景には 生きづらさがあります

貧困・虐待・孤立・依存…  
犯罪や非行の背景にある「生きづらさ」は様々です。  
例えば、お酒への依存をきっかけに犯罪に至った人は、元々孤立の問題を抱えている場合が少なくありません。  
小さな頃に受けた虐待やいじめの経験は、自分自身を大切に思い、他者の痛みに共感する気持ちを育むことをときに困難にし、そのことが犯罪に至るきっかけをつくることもあります。  
これらの生きづらさに思いを寄せ、立ち直ろうとする人の生きづらさを包み込むコミュニティは、新たな被害者を生まない、新たな加害者も生まない、誰もが安全・安心に暮らせるコミュニティにほかなりません。

## 生きづらさに寄り添い 立ち直りを支援する方法は様々です

**理解を深め  
見守る**

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちへの「理解を、よろしくお願いします。」

**寄付で  
応援する**

立ち直り応援基金は、一口1000円からインターネットで誰でも気軽に寄付をすることができるとなっています。寄付金は、全国の

草の根の立ち直り支援活動に大切に使われます。

立ち直れる。その思いをツナグ。  
**立ち直り応援基金**

**SNSをフォロー拡散**

#立ち直り応援基金  
#社明71  
#生きづらさを、生きていく。

法務省保護局のツイッターやInstagram等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。QRコードは裏面にありますので、ぜひチェックしてみてください。

**イベントに参加する**

全国では、7月の強調月間を中心に、「社会を明るくする運動」の様々なイベントや広報活動、シンポジウムが行われています。お住まいの地域のイベントに、ぜひご参加ください。

### 立ち直りを支援する 担い手になる

**立ち直りを一番近くで見守る**  
**保護司**

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行なっています。全国に約4万6000人います。



**社会復帰する人の居場所をつくる**  
**更生保護施設**

更生保護施設は、刑務所などを出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた指導や援助を行う民間の施設です。自立準備ホームは、更生保護施設以外に宿泊場所を提供するNPO法人等が営む施設です。

**地域のことを  
ほっとけない**  
**更生保護女性会**

更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動や更生支援を行う女性のボランティアです。非行問題を考えるミニ集会のほか、子育て支援活動など、多様な活動を行っています。全国に14万8000人います。



**若い人の視点で  
立ち直り支援に参加**  
**BBS会**

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。全国に約5000人います。



ほかにも、農福事業者、自助グループなど、立ち直り支援の担い手は様々です。そして、食育、スポーツ、アウトドアだっていい。立ち直り支援には、ダイバーシティが大切です。

**「就労」と「見守り」の両方を担う**  
**協力雇用主**

犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万4000事業者がいます。



## #生きづらさを、生きていく。

一人ではどうにもならない、生きづらさがあります。犯罪や非行の背景にも、生きづらさがあることは少なくありません。自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人たち。その姿を受け入れ、生きづらさを包摂するコミュニティが必要です。立ち直ろうとする人のそばにいて、寄り添うこと。



立ち直りを支援する人たちの活動を、応援すること。立ち直りを応援するメッセージをフォロワー・拡散すること。そして、立ち直ろうとする人の、生きづらさに思いを寄せること。一人ひとりにできることが重なりあえば、大きなコミュニティがつくられていきます。——立ち直ろうとする人が向かうその先に、もっともって大きな、生きづらさを包み込むコミュニティを。

社会を明るくする運動が目指す、立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。